



2013年4月17日



## EXE-i シリーズについてのよくある質問(FAQ) 3

### 1. ファンドの費用について

質問	EXE-iシリーズはなぜ低信託報酬なのですか？
回答	EXE-iシリーズでは、主にインターネット・チャンネルをターゲットとすることで、販売会社、委託会社への報酬（投資家の皆様の間接的にご負担いただく信託報酬）を可能な限り低く設定いたしました。また、投資対象であるETFについても、流動性や連動性を考慮した上で、信託報酬の低いETFを選択することで、低コストのファンドを商品化することができました。

質問	実質費用について教えてください。
回答	<p>EXE-iシリーズでは信託報酬以外に、以下の信託財産の中で間接的に負担いただくコストが発生します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① ETFの売買にかかる売買手数料</li> <li>② ETFを保管する海外保管銀行(カストディアン)への報酬</li> <li>③ 監査報酬</li> </ul> <p>これらの費用は、監査報酬を除き運用状況などにより変動するため、事前に料率、上限額を示すことはできません。なお、①、②についてはEXE-i(エグゼアイ)シリーズを設定した1期目は現金資産からETFを購入していくこと、資産残高が増加していく中でも追加でETFを購入することから、2期目以降より相対的に費用が高くなります。ファンドの費用については、コラムでも詳しく説明しておりますのでご覧ください。</p> <p>インデックス徒然(3)ファンドのコスト  <a href="http://www.sbiam.co.jp/EXE-i/column/b03.html">http://www.sbiam.co.jp/EXE-i/column/b03.html</a></p>

質問	EXE-iシリーズは、SBI証券の「投信マイレージサービス※」の対象外とのことですが、当サービスの対象である他社のインデックスファンドシリーズと比較した場合、信託報酬についてどちらに優位性がありますか？
回答	<p>EXE-i(エグゼアイ)シリーズと他社のインデックスファンドシリーズの信託報酬について、以下の前提条件で比較した結果、SBI証券において投資信託の月の平均保有額が1,000万円未満の場合は、グローバルREITファンドを除いてEXE-iシリーズに優位性があります。ただし、投資信託の月の平均保有額が1,000万円以上の場合は、先進国株式ファンド、新興国株式ファンドを除いて、一部他社のインデックスファンドシリーズに優位性が認められるものがあります。</p> <p>なお、EXE-i(エグゼアイ)シリーズが投資対象とするETFは、純資産規模拡大によってエクスペンシオ(総経費率)が低減される可能性があり、EXE-i(エグゼアイ)シリーズの実質的な信託報酬もこれに伴い今後さらに低減される可能性があります。また、EXE-i(エグゼアイ)シリーズは、長期投資を視野に入れ、実質的な信託報酬を可能な限り抑え、運用効率を重視した商品になります。</p> <p>＜前提条件＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取扱販売会社:SBI証券</li> <li>・ EXE-i(エグゼアイ)シリーズと他社のインデックスファンドシリーズの月の平均保有額は、同額で不変</li> <li>・ 「投信マイレージサービス」によって付与されるSBIポイントを1ポイント=0.8円で現金換算し、比較(換算率は条件によって異なる場合があります)</li> <li>・ SBIポイントの換金にかかる手数料は考慮していません</li> <li>・ グローバル中小型株式ファンドについては、比較対象となるファンドがないため対象から除外</li> </ul> <p>※ SBI証券の「投信マイレージサービス」制度について  投資信託の月の平均保有額によってSBIポイントが付与される制度で、月の平均保有額が1,000万円未満は0.1%、1,000万円以上は0.2%のSBIポイントが付与されます。「投信マイレージサービス」の詳細につきましては、取扱販売会社であるSBI証券のウェブサイトをご参照ください。</p>

●当資料に関する留意点

- ・当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・当資料の数値等はあくまでも過去のものであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。